



BBCの動画見てください！

天高く秋空にはためくタルチョが美しく清々しいです。「タルチョ」はチベット佛教で奉納されている経典の書かれた旗です。上写真は私のお寺境内です。「なぜお宅のお寺にタルチョが？」と、他所の住職さんが来寺されると尋ねられます。「うちのお寺、実は10年後にチベット佛教に宗旨替えする予定なのです…」といい加減に答えています、チベットを応援する意味もあるのです。独立国であったチベットへ1949年から本格的に始まった中国共産党の侵略によって国と民族が乗っ取られようとしています。佛教界も例外ではなく、特に女性僧侶が多く捕らえられ犠牲者となっている。更に周辺国も勝手に自治国とされ、内モンゴル、ウイグル各自治区にその脅威が広まり、最近ではウイグル自治区の人々の臓器が同じイスラムで汚れていなく中近東のお金持ちに高額で売買されているなど深刻になっている。何故だか日本ではあまり報道されていない。



ウイグルの平凡な家庭に突如当局員が土足で上がり込んで若い夫婦等を連行し、更に親子は引き裂か

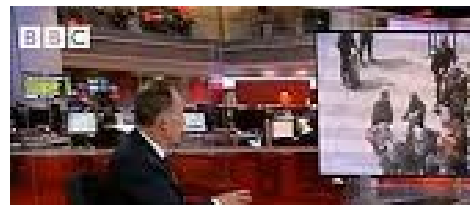
れそれぞれの強制収容所へ強制収容される。左下写真はそのため駅前広場に集められた多くのウイグルの人々。人々は両手を後ろ手にされ、頭には黒い頭巾をかぶせられ整列させられている。男女とも頭は坊主刈りにされている。まるでナチスドイツ時代に貨車に乗せられるユダヤ人の映画のシーンを見ているようです。収容所では、彼らが信仰しているイスラム教を捨てさせ中国語の教育をする。民族を滅亡させる手っ取り早い方法として言語を奪うことは



中国が昔から行ってきた方法だ。徹底的に共産主義教育をする。また民族根絶やしのため、女性

は強制的に避妊手術をさせられるのだが、雑な施術のため後遺症に苦しんでいる。

これら非道な中国共産党の実態をイギリス国営放送BBCが放映し話題になった。スタジオに駐英中国大使を呼び、この一連の動画を大使に見せながら一対一でキャスターが問い詰めていくという全くイギリスらしい番組で、親中報道の多いNHKには是非見習って欲しいも



のです。大使のとぼけぶりは度を過

ぎて痛々さえ感じる始末です。あきれて進行表らしき書類を投げ捨ててしまうキャスターの姿が印象に残りました。現在もネット You Tubeで『ウイグル BBC』で検索していただければご覧になれます。 俊徳丸